

教科	工業	科目名	機械システム製図(造船製図)	単位数	2
学科	機械システム船舶海洋コース	学年	3 学年	履修区分	選択・船舶海洋コース
使用教科書	SALE TO THE FUTURE 造船製図				
副教材など					

### 1. 科目の目的

「船舶工学」との関連のもとに製図に関する必要な知識・技術を習得させ、船舶建造に必要な基本図が作成できる能力を養うようにします。

### 2. 授業の内容と進め方

造船製図についての概要を学習し、排水量等曲線図、中央横断面図、船尾骨材等を描く。  
CADの学習とCADを利用して、図面を描く。

### 3. 学習する上での留意点

1年時、2年時に学習した製図の基礎、造船工学で学習した内容をもとに造船の図面を正しく描くことができるようにします。

### 4. 課題等について

課題図面を描き、提出します。

### 5. 成績評価規準(評価の観点及び趣旨)

評価の観点	評価規準
知識・技術	造船製図に関心を持ち、意欲的に取り組み基礎となる様々な知識が身についているかを評価します。
思考・判断・表現	「船舶工学」の授業で学習した造船に関する知識を活用し、図面を作成する能力を評価します。
主体的に学習に取り組む態度	造船製図の理解に努め、課題図面に対して積極的に取り組み、自ら学習しようとする態度を評価します。

### 6. 評価の方法

評価については、課題図面、授業態度で総合的に判断します。

《指導計画》 科目名 機械システム製図(造船製図)

3 学年

2 単位

学期	月	学習内容 (単元・考査等)	学習のねらい	評価方法等
一 学 期	4	船体構造図について	CADの基本を理解させ、簡単な図面の作成を通して各種コマンド・基本操作を理解させる。  船体中央横断面図を描き、その作図方法を学ぶ。	図面提出 行動観察
	5	CADの基本操作 各コマンドの学習 基本図面の作成		
	6	中央横断面図の作成		
	7			
二 学 期	9		船尾骨材を描き、その作図方法を学ぶ。	図面提出 行動観察
	10	船尾骨材の作成		
	11			
	12	排水量等曲線図の作成	実習で作成した計算表を下に、排水量等曲線図を作成し、その計算過程を理解する。	
三 学 期	1			図面提出 行動観察